

平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

平成29年(2017年)1月号 ▲ ✨ 第150号 ✨

美しい 県土づくりNEWS



目次

- 2 (主)重茂半島線大沢～浜川目工区(仮称)大沢トンネルが貫通!
- 3 平成28年発生災害の災害査定が終了!
- 4 JAL「新 JAPAN PROJECT 岩手」始動!
- 5 宮古・室蘭フェリー航路開設をPR!
- 6 ハード・ソフトの両面から防災意識を共有
～いわて三陸復興フォーラム「安全の確保」報告会～
- 10 県土整備部の職場紹介～建築住宅課～
- 11 県土整備部の職場紹介
～県北広域振興局土木部二戸土木センター～

2017年
1月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌第150号
平成29年2月7日発行
編集 県土整備企画室



三陸復興

(主)重茂半島線(仮称)大沢トンネル貫通!

山田町

～平成29年度の供用に向け大きく前進～

県が「復興関連道路」として下閉伊郡山田町大沢～浜川目地内で整備を進めている主要地方道重茂半島線大沢～浜川目工区(以下、「本工区」という。)において、平成29年1月10日に、(仮称)大沢トンネル(L=265m)が貫通しました。県が復興関連道路として整備を進めている(主)重茂半島線のまちづくり連携道路整備事業では、初めてのトンネル貫通となります。



発破によりトンネルが貫通!

平成28年7月の掘削工事着手から約6か月での貫通となりました

平成

令和

16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6
2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024

平成29年(2017年)1月号 ▲ ✨ 第150号 ✨

【復興関連道路】

(主)重茂半島線大沢～浜川目工区 (仮称)大沢トンネルが貫通！

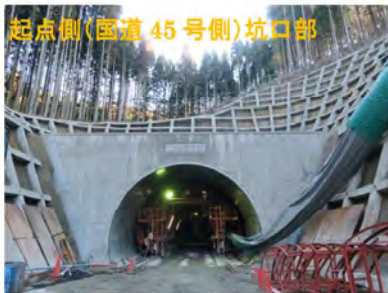
～ つなごう！復興のために 進もう！復興のその先へ～

沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

(仮称)大沢トンネルは、平成28年7月11日に安全祈願祭を開催し、これまで、国道45号側から本体工の掘削工事を進めてきました。

県関係者や工事関係者等約30名がトンネル貫通の瞬間を見届け、貫通後には、宮古土木センターの久保田道路整備課長の音頭により、参加者一同の盛大な万歳三唱で、貫通を祝いました。今後は、トンネル内部をコンクリートで覆う工事や、排水施設の設置等を進めていきます。

今年は、“復興の先を見据えた地域振興に取り組んでいく重要な年”であり、本工区についても平成29年度の供用に向けて全力で事業を推進し、復興の更なる展開につなげていきます。



起点側(国道45号側)坑口部



終点側(大沢小学校側)坑口部



トンネル貫通を喜ぶ工事関係者ら

【(主)重茂半島線大沢～浜川目工区の事業概要】

県では、岩手県東日本大震災津波復興計画に基づき、三陸沿岸地域の復興と安全・安心を確保し、災害に強く信頼性の高い道路ネットワークを構築することを目的として、三陸復興道路整備事業を実施しています。

(主)重茂半島線は、三陸復興道路整備事業の「復興関連道路」に位置付け、県が重点的に整備を進めています。このうち、下閉伊郡山田町で事業を進めている大沢～浜川目工区は、多重防災型まちづくり連携推進事業(まちづくり連携道路整備事業)として山田町が施行する漁業集落防災機能強化事業、土地区画整理事業等の復興まちづくりと連携し、東日本大震災津波と同等の津波が発生した場合でも浸水しない道路を整備することにより、高台に整備される3箇所の住宅団地(大沢第1住宅団地、大沢第2住宅団地、浜川目住宅団地)をつなぎ、災害時等における確実な緊急輸送や代替機能等を確保します。

事業概要図



美しい県土づくりNEWS 2017年1月号

県土整備部の職場紹介 No.14
県北広域振興局土木部二戸土木センター

地域概要

二戸土木センターの所管区域は、二戸市、一戸町、軽米町および九戸村の4市町村で、北東北（青森・秋田・岩手）3県の中央部に位置しています。
管内の主な道路は、八戸自動車道、国道4号、国道340号及び国道395号のほか、主要地方道11路線、一般県道14路線であり、また、河川は、一級河川馬淵川水系および二級河川新井田川水系の17河川があります。
当管内においては、平成元年に東北縦貫自動車道が全線開通、さらには平成14年に東北新幹線二戸駅が開業したことにより、本地域の担う役割は大きなものとなり、北東北3県の結節点として重要な地域の一つとなっています。



組織体制

○平成28年度組織キャッチコピー

成し遂げよう、震災復興！つなげよう、魅力あふれる県北圏域の未来へ！

○組織の特徴

当センターの組織は、所長以下5課および1スタッフで構成され、職員数は、正職員27名と臨時職員等19名の総数46名の体制です。

今年度の主な取組

1. 一般国道395号赤石峠工区

一般国道395号は、内陸の二戸と沿岸の久慈を結ぶ県内最北端の横断道路です。復興支援道路として、赤石峠工区では幅員狭小、急カーブや急勾配となっている交通の難所を解消する改良工事を進めており、平成29年春の完成を目指して事業を進めています。



施工中の様子

2. 一般国道340号駒板工区

一般国道340号は、岩手県内陸部の北上山地を南北に縦断する幹線道路であり、九戸村の駒板工区を含む区間は、地域の主要産業である養鶏業を支える物流路線であるとともに、生活道路としての役割を担っています。駒板工区では、幅員狭小、急カーブとなっている交通の難所を解消する改良工事を進めており、平成28年度末の完成を目指して事業を進めています。



施工中の様子

平成

令和

16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 1 2 3 4 5 6
 2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024

平成29年(2017年)1月号 ▲ ✨ 第150号 ✨

3. 一般県道二戸一戸線荒瀬橋橋梁補修工事

一般県道二戸一戸線、現在の荒瀬橋は一級河川馬淵川に架かるコンクリートアーチ橋として昭和11年5月に竣工しました。歴史的にも貴重な構造物であり、周辺環境との調和、景観的にも優れていることから、「おいしいちゃん橋プロジェクト※1」の中の橋梁の一つです。

平成25年度に下部工の補修工事に着手し、平成28年10月に上部工の補修工事が完了しました。

※1 完成から60年(人という選層)を過ぎ、歴史的価値が高く、景観に優れた橋の再生・修繕を進め、橋の存在や価値を県民の皆様にご存知いただく取組

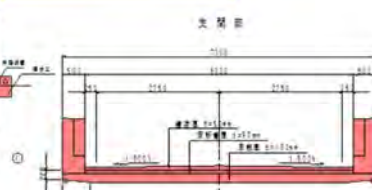
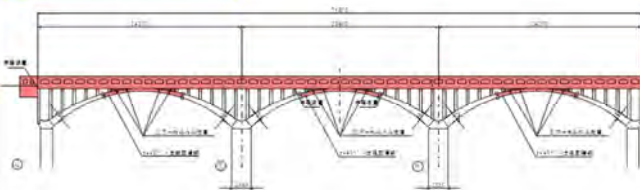
石切所小学校の3年生を迎えて現場見学会を開催 (H28.9.7)



施工前



施工後



橋名	あらせげし 荒瀬橋
位置	二戸市石切所
橋長	71.8m
有効幅員	6.0m
径間数	3
形式	RC開腹上路アーチ橋

独自の取組等

1. 道の日～奥州街道(蓑ヶ坂(みのがさか))を巡る～

国民に道路の意義・重要性について関心をもってもらうため、国土交通省は昭和61年に、8月10日を「道の日」と制定しました。以来、各地で様々なイベントが開催されています。

毎年、県北広域振興局土木部(本局、二戸土木センター)では、奥州街道の歴史の道を巡るバス&ウォーキングツアーを開催しています。平成28年度は、奥州街道の難所の一つであった、蓑ヶ坂を巡るツアーを開催しました。



蓑ヶ坂ウォーキングの様子

2. 木造住宅の耐震対策普及講座(出前講座)

県では、「安全」で「安心」できる建築物ストックの形成を図るため、既存建築物の耐震対策や防災対策等を推進しています。

これらの施策の一環として、小学校における木造住宅の耐震対策普及講座(出前講座)を開催し、次代を担う児童の防災意識づくりに取り組んでいます。